

「第4次鎌倉市図書館サービス計画(素案)」に対する市民等の意見一覧及び市の考え方

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|-----|-------|--|---|
| 1 | 1 | 表現・説明 | ここに、P2で表示されている【図書館に関連する諸法令】を文章化するべきではないでしょうか。 施策体系として「総合計画」等が上位にあるのはわかりますが、その「総合計画」も関連法をうけて策定されたものである以上、本計画を策定するにあたって、関連法等の説明があるほうが、読み手の理解や共有が進むと思います。 鎌倉市図書館設置条例に明記されているように、「図書館法」によってたつ鎌倉市の図書館ですので、同時に上位法である「教育基本法」や「社会教育法」、そして近年の課題解決をめざす「文字・活字文化推進法」や「読書バリアフリー法」、「図書館の設置および運営上の望ましい基準」「公共図書館の任務と目標」等への努力が求められていると思います。 3段落目の具体的な記述は図書館の素人である市民でもよく理解できますので、上記の関連法もここにわかりやすく文章化してはどうでしょうか。 | 図書館に関連する諸法令は様々ありますが、本計画がどの法令(図書館法)に基づくものなのかわかるようにするとともに、本計画の内容にかかわる考え方、事業推進に向けての諸法令は分けて記載することとしていますので、ご意見として承ります。今後、適切な説明に努めてまいります。 |
| 2 | 1 | 表現・説明 | 2段目の対象期間部分は1-2と重複しますのでここでは削除 | ご意見のとおり修正しました。 |
| 3 | 1 | 表現・説明 | 前項「鎌倉市図書館ビジョン」のすばらしい内容について、(最後のまとめ部分など)、改めて記述してほしいと思います。 | 本計画は行政計画であることから、計画の構成上、最初に鎌倉市図書館ビジョンを掲げ、このビジョンの実現に向け、目標や施策等を定めて計画的に実施していこうとするものですので、ご意見として承ります。 |
| 4 | 5~ | その他 | 具体的な記述、そして裏付けがあると表面的な目標を掲げるだけで終わってしまいます。昨年のアンケートを精査した報告は詳細でよく理解できました。ただ、今まで実施された過去のアンケートと比べて、回答者の意識の変化があったのか、そこを知りたいと思いました。 サービス計画は、継続して行われているものです。長年実施された過去のアンケート結果、図書館に寄せられた意見も合わせて読み取ること、市民の意識の変遷が分かると思います。 | ご意見を踏まえ、過去のアンケート等を確認しましたが、利用されている方の意識の変遷については読みとれませんでしたので、ご意見として承ります。 |

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|-----|-------|---|---|
| 5 | 5 | その他 | <p>アンケート結果は鎌倉市全人口からみると非常に少なく、方法として、どの様に行ったのか。</p> <p>例＊来館者・非来館者：非来館者→図書館に興味がない、近くに図書館がなく不便、鎌倉市図書館以外利用（ネットワーク・各種学校図書館・その他）では鎌倉市図書館以外でアンケート調査は？→放課後子どもひろば、地域の集会所、提携都市図書館等（これには職員の通常業務以外時間、手間が多く必要でしょう）</p> | <p>アンケートは次の方法で実施しました。（P5に記載）</p> <p>対象者：無作為抽出した市民2,000名（12歳以上対象、郵便で依頼。）、来館者、市内小中学校全児童・生徒</p> <p>周知方法：図書館ホームページ、ツイッター、館内掲示、市内小中学校全児童・生徒への文書配布</p> <p>回答方法：郵送による返信、アンケート回収箱への投函、e-kanagawa電子申請の利用</p> |
| 6 | 5 | 計画全般 | <p>P5で、第3次の総括として、「…図書館全体の蔵書バランスを見ながら効果的な選書と蔵書構築を行いました。しかし…」とありますが、方法を含めて具体的な説明が無く、専門司書として、達成できなかったと感じるところはどの点か、また時間的余裕がなかったためか、人員が足りないからできないからできなかったのか、第三者の分析の必要を感じているのか、根本的な資料費不足が原因か説明が欲しいと感じました。</p> | <p>P5に記載のとおり、「資料管理委員会による集中選書方式に変更し、鎌倉市図書館全体の蔵書バランスを見ながら効果的な選書と蔵書構築を行いました」が、アンケート結果などから、市民ニーズを満たす蔵書を達成することができなかつたと分析しました。このため、「多種多様な資料をもっと多く所蔵してほしいという利用者のニーズを満たして満足度を高めていく必要があると考えています」と総括しました。</p> <p>引き続き、計画を推進する中で、よりよい選書、蔵書構築を進めてまいります。</p> |
| 7 | 5 | 表現・説明 | <p>サービス計画の内容に、少し新鮮味が感じられませんでした。それは、今までのサービス計画の達成項目が明確に記されていないからだと思います。毎回同じことが書かれているように感じてしまいます。専任司書採用が再開されることが確定となったこと、外部委託のない市直営の貴重な運営体制、人員体制の図書館であることを、鎌倉市の図書館の魅力として強調しても良かったのではないのでしょうか？これが100年つながったら素晴らしいことです。</p> <p>この実現には、署名活動を始め、市民の協力があったことを明記すれば、市民と創りあげた図書館ということの裏付けになると思います。図書館の記録としても貴重です。</p> | <p>ご意見として承ります。</p> |

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|-----------|-----------|--|--|
| 8 | 9 | 図書館職員 | <p>P9 2-4-(4)ですが、「・・・今後も支持されるよう、研修の充実など図書館員の知識やスキルの継承に努めます。」は「・・・今後も支持されるよう、専門的職員である司書の継続的な採用や研修の充実など、館員の知識やスキルの継承に努めます。」としては如何でしょうか。研修の充実だけで図書館員の継承ができるものではないことは明白です。継続的雇用があればこそ、111年の歴史を持つ図書館を次の100年へと繋いでいくための「人」の体制を整えることができます。</p> | <p>ご意見として承り、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。</p> |
| 9 | 10/ 14 | 図書館職員 | <p>「資料と利用者のニーズを熟知した人材の育成」は「資料と利用者のニーズを熟知した司書職員の研修と継続的採用」とするべきではないのでしょうか？ここで記されている「人材」とは「司書」のことではないのでしょうか？このような書き方だと、「人材であるボランティアを職員が育成する」とも読み取れますので強い違和感があります。「人材」は行政用語として一般的なのかもしれませんが、図書館に不可欠の「人」を「人材」と呼称すること自体なじめない表現と考えます。「有用な人材」という表現には違和感があります。「有用な司書」あるいは「有用な職員」ではいけないのでしょうか？</p> | <p>図書館職員を指すことを明確にするためご意見のとおり修正しました。</p> |
| 10 | 11 | 施設整備・環境整備 | <p>現庁舎へ移転、深沢新庁舎への移転を念頭において構想を進めるのは大変な作業と思われませんが、移転先は両者とも図書館スペースが縮小されています。学習スペース、ゆったりと紙資料を楽しむ場所は必要。</p> | <p>ご意見として承り、目標3の「未来につながる図書館」の中で総合的に検討していきます。</p> |

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|-------|-----------|--|--|
| 11 | 12/13 | 計画全般 | <p>鎌倉市図書館にふさわしい蔵書構築とはなんのでしょうか？ 漠然とした表現で、聞こえはいいですが、イメージが難しいと思いました。歴史や古文書に特化した蔵書構築でしょうか？ 他の自治体と違う点はどこですか？普通に生活する一般市民からすれば、魅力ある図書館が基本的に所蔵している図書は同じだと思います。鎌倉を強調するのであれば、どこが違うのか説明がほしいと思いました。 例えば、理想的な蔵書構築を求めて、このような手法を使って現状把握する。(公平な第三者に依頼することも考えられると思います。)そのために必要な資金はどこから調達するか。 または、鎌倉図書館の有能な専門司書の力をもって、このような方法で現状分析をします。そこに格別な資金は投入しません。等々。 その結果、今不足している蔵書体系や、浮き彫りになった蔵書の問題点を公表して、市民の協力理解を求める方向で動きます。など、現状報告→現状分析→改善点→実施←市民の協力、に向けての具体的な案を、補足していただきたいと思いました。</p> | <p>P20, P21, P23の取組状況一覧にもありますが、利用状況や現在の蔵書構成を分析し、地域独自の問題や関心を把握したうえで鎌倉市民のニーズに合った蔵書構成を目指すことが「鎌倉市図書館にふさわしい蔵書構築」だと考え、進めてまいります。 また、蔵書構築の手法につきましては、上記及びP13の具体的な取組にあるとおりです。ご意見として承り、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。</p> |
| 12 | 13 | 図書館資料 | <p>現図書館は鎌倉関係の資料は満足する状況ではないと思います。</p> | <p>ご意見については、目標1の重点事業「市民や鎌倉に関わる人にとって魅力ある蔵書づくり」として位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。</p> |
| 13 | 13 | 施設整備・環境整備 | <p>鎌倉市関係の資料が少なく貸出不可の本としてあっても館内で利用しようとしても適切な場所が得られない時が多々ある。</p> | <p>ご意見については、目標1の重点事業「市民や鎌倉に関わる人にとって魅力ある蔵書づくり」及び目標3の重点事業「利用者のニーズに応じた新しい図書館づくり」として位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。</p> |
| 14 | 13 | 施設整備・環境整備 | <p>日焼け防止対策の取り組みが充実していないことが多く劣化や痛みが多くみられる</p> | <p>ご意見については、P20 取組事業一覧「資料収集・保存・管理」に位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。</p> |

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|-------|-----------|---|---|
| 15 | 13 | 施設整備・環境整備 | デジタル資料の利用箇所が限られている。 | ご意見については、目標2「誰もが使いやすい図書館」の重点事業「各種電子サービス等デジタル環境の整備」に位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。 |
| 16 | 13/15 | 施設整備・環境整備 | 近代資料室が利用しやすい資料室でありますように。 | ご意見については、P27、目標2「誰にでも使いやすい図書館」取組事業一覧にもありますとおり、「鎌倉にふさわしい博物館基本構想」の一拠点として、利用のしやすさという視点からもあり方について検討を進めてまいります。 |
| 17 | 13 | 図書館資料 | 総務課行政資料・歴史的資料・市史資料の充実、これは事実に基づいた資料であることが必要であるが、それに併せて読みやすい読み物感のあるものがあれば多くの方が理解しやすい。 | ご意見として承ります。 なお、資料作成については、目的、根拠、対象者等異なる状況がありますが、正確で分かりやすい資料づくりに努めてまいります。 |
| 18 | 14 | 図書館職員 | 多くの課題に対処されるのは図書館職員である司書職の方々です。十分な人数確保、正規司書職の確保は図書館の諸充実、利用者の満足を得られます。まずは行政と十分な連携とともに正規司書職の充実を図ることは大切な課題と思います。 | ご意見については、目標1の「利用者にとって魅力ある図書館」の重点事業2「資料と利用者のニーズを熟知した職員の育成」として位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。 |
| 19 | 14 | 図書館職員 | 司書職の業務を十二分に理解し個々の能力を発揮させるのは図書館長の役目。 現在、図書館長は司書資格を得てなくてもその立場で懸命に頑張っておられます。がやはり司書資格があれば？余儀なくではあろうが1～2年で交代しては推進計画の全容計画・過程・結果・今後に向けてのすべき事をつかみにくいのではないのでしょうか。 | |

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|-----|-------|---|--|
| 20 | 14 | 図書館職員 | <p>図書館は基本的には、豊かな蔵書とあらゆる問題に対応できるレファレンス担当がいてくださることが大きな柱になると思います。有能な司書の存在があってこそその理想的な蔵書構築の実現が可能になると思われます。つながる図書館＝支える職員の方々だと思います。今の人員体制で、これだけのサービス計画を実施できるのか心配にもなります。</p> | |
| 21 | 14 | 図書館職員 | <p>資料の収集・補修し、保存管理・提供する人材育成には多くの経験年月が必要です。是非とも正規司書職員が十分に確保されますように、それには行政の理解が必要不可欠であると思います。</p> | <p>ご意見については、目標1の「利用者にとって魅力ある図書館」の重点事業2「資料と利用者のニーズを熟知した職員の育成」として位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。</p> |
| 22 | 14 | 図書館職員 | <p>鎌倉にふさわしい蔵書とするためにも、市民が求めるサービスをするためにも、一番大切なのは人材です。今年度は30年ぶりに司書が採用されて大変うれしく思いましたが、今後もこれが継続されることを強く願っています。</p> | |
| 23 | 14 | 図書館職員 | <p>近年、居場所としての図書館が話題になったり、居心地の良さが求められるようになってきましたが、図書館の本質的な役割、図書館にしかできない役割はそれではありません。資料の収集、保存、提供はもちろんですが、高度な調査研究に対応できる図書館は市民の支えでもあり誇りです。少ない人員でご苦勞の多いことと思いますが、期待しています。</p> | |

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|----------|-------|--|---|
| 24 | 14 | 図書館職員 | <p>国公立の図書館が充実するかどうかは国や自治体が潤っているかどうかの指標かと思われます。鎌倉市では今、市で雇われた常勤の司書を配置しており、それは一見すると違いが分からないかもしれませんが、実は大変市民のためになっていることだと思われます。これからも古都鎌倉のプライドをぜひ守っていただき、文化財や公共の施設やそこで働く知識を持った方々を大切に雇用していただきたいと思います。</p> | |
| 25 | 14 19 | 図書館資料 | <p>本を読んでいて巻末に参考文献に挙げられた資料を参照しようとしたとき、鎌倉の図書館では所蔵されていないということを何度も経験しています。新刊書だけの問題ではなく専門書、学術書の蓄積が少ないのです。これも予算不足のため比較的高価な書籍の購入が見送られた結果だと思います。図書館で大切なのは今よく読まれている本のニーズに応えるだけでなく、寿命の長い価値をもつ本の集積です。それには専門職員とともに資料費の確保があつてはじめて「図書館資料等の充実」が可能となります。</p> <p>ところが、この計画では予算に関する目標値が設定されていません。関東地方の人口規模が鎌倉に近い自治体の図書館の中での比較表がありますが、予算の項だけ「目標数値指数」を空欄にしています(P14)。これは記入漏れではなく、わざわざ斜線を入れているので意識的と思われます。</p> <p>「財源の確保に向けて」という項目もあるのですが、「国や県の補助金」「イベント時の寄附採納」「既存の基金の活用」などが挙げられているだけで、予算の確保は念頭にないよう見えてしまいます(P19)。むしろ図書館振興基金が悪用されるのではないかと危惧されます。最低限、同規模自治体の市立図書館の平均値を予算の目標にするというような具体性がサービス計画には求められると考えます。</p> | <p>ご意見を踏まえP9の 2-4-(3)に加筆修正しました。また、目標1に掲げる「利用者にとって魅力ある図書館」の重点事業1「市民や鎌倉に関わる人にとって魅力ある蔵書づくり」の中で取り組んでいきます。</p> |

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|-----|-----------|--|---|
| 26 | 15 | 計画全般 | <p>図書館を利用しづらい人とは、どんな方を指すのでしょうか？身体的、知的にしょうがいを抱えている方、乳幼児を育てている親、高齢者、地理的に図書館利用が難しい地域に居住している方など、色々考えられます。</p> <p>具体的に、図書館としてはどのような方を対象と考え、順番としてどこから対処していく方針なのか、また個々の問題を抱えている方が直接相談できる窓口を作る予定があるのかを知りたいと思いました。大声で叫ぶ人優先でなく、本当に問題を抱えている人に寄り添える体制を望みたいと思います。</p> | <p>ご意見については、目標2の「誰にでも使いやすい図書館」として位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。引き続き利用者に寄り添った対応をしていきます。</p> |
| 27 | 15 | 施設整備・環境整備 | <p>デジタル問題がどうしても声高く叫ばれる社会情勢となってきました。そこにはメリットもデメリットもあると思います。紙の書籍を基本とする図書館であるからこそ、デジタル環境の整備を謳うだけでなく、そこにある問題点もどのように考えているのか具体的に説明してほしいと思います。デジタル環境を整える中で、新たに図書館を利用しづらい人も増えると思います。</p> | <p>ご意見については、目標2の「誰にでも使いやすい図書館」として位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。</p> |
| 28 | 15 | 施設整備・環境整備 | <p>デジタル書籍は、館内に所蔵する書籍とは違います。資料費が少ない中での打開策として、県内図書館ネットワークの力を持って、相互貸出のようなシステムを作れないでしょうか？各市が協力し、デジタル書籍を出版する出版社は、紙媒体も出版しているのですから、そこも巻き込み協力を求め、もっと大きな視野から考え、提案していくこともできるのではないのでしょうか？</p> | |
| 29 | 15 | 施設整備・環境整備 | <p>私自身は紙媒体の方が、行間から作者の想いが伝わり、好きです。また、読書離れを危惧するのであれば、デジタル分野の図書館での提供は、調べものに限るとかある程度、図書館なりの姿勢をもって臨む方がいいと思います。</p> <p>史実に基づき作成された紙芝居を見たある大学生が「今はスマホやパソコンでなんでも調べられますが、こうやって絵とお話になると、自分の心に入る響き方が違う」と感想を述べていました。ぜひ、鎌倉市独自の、デジタル環境構築に臨む姿勢を明確にして頂きたいと思います。</p> | |

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|-----|-----------|---|--|
| 30 | 15 | 施設整備・環境整備 | <p>障害者や子どもたち、高齢者や生活困窮者など、いわゆる社会的弱者とされる人々や、様々な理由で図書館利用にバリアを感じる人へのサービスは、公共図書館にとって最も重要な課題の一つと考えます。そのような社会的弱者を排除しないこと、リカバリーのために役に立つこと、それぞれのQOLを高めること、などに公共図書館の大切な存在意義があり、だからこそ、鎌倉市民は、もちより分け合う気持ちで、図書館への税金の投入を認めていると考えるからです。</p> | <p>ご意見については、目標2の「誰にでも使いやすい図書館」として位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。</p> |
| 31 | 15 | 施設整備・環境整備 | <p>図書館への行き方に、交通機関利用・駐車場・また道路事情として歩行者にとって危険個所が多すぎます。道路の状態如何では杖、車椅子、歩行器、高齢者使用の引き車など危険な状態箇所は至る所にあります。健常者では考えつかない危険個所が随所にあります。図書館だけで解決できる問題ではなく行政と一緒に考え実行しなければならない問題です。</p> | <p>ご意見として承り、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。</p> |
| 32 | 15 | 図書館資料 | <p>図書館振興基金を利用して得た貴重資料を常設展示や、折を作り公開展示をして頂きたい。移動手段に多々問題はあるでしょうが地域館での公開があれば基金の有益な利用が得られるのではないのでしょうか。</p> | <p>振興基金で得た資料につきましては、劣化防止や移動のリスクなどの観点から特別な配慮が必要なものと考えていますが、その点を配慮しつつ多くの方にご覧いただけるような工夫を検討してまいります。また引き続きホームページ上での公開に努めてまいります。</p> |
| 33 | 15 | 計画全般 | <p>ブランクエリア対策 移動図書館が難しいのは道路事情や拠点になる場所の狭さが問題だと以前聞きましたが、おそらくそれ以上に職員の少なさが問題なのではないのでしょうか。 それでも、身近に図書館がないために利用できない人へのサービスは考えなければなりません。 問題を絞って広く市民に問いかけるなどして、課題を解決できないのでしょうか。</p> | <p>ご意見については、P26、目標2の「誰もが使いやすい図書館」の取組事業一覧の項目として位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。</p> |

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|-----------|-----------|---|--|
| 34 | 15 | 計画全般 | 貴重資料の保存のためだけでなく、ネットワークで世界がつながる今、資料のデジタル化は必須だと考えます。そのための予算や人員確保は大変だと思いますが、ほかのことも同様ですが、何が必要で、それはなぜか、ということをして市役所内はもとより広く市民に知らせることで理解を得る努力も必要だと思います。 | ご意見については、目標2「誰にでも使いやすい図書館」として位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。 |
| 35 | 15 | 施設整備・環境整備 | 図書館資料で調べものをするかたわら、インターネットを駆使するのは多くの人にとって当たり前のスタイルになっていると思います。Wi-Fi環境の整備は今や必須と考えます。 | ご意見については、目標2「誰にでも使いやすい図書館」の重点事業2「各種電子サービス等デジタル環境の整備」として位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。 |
| 36 | 15 | 施設整備・環境整備 | 図書館にパソコンやタブレットを置いて、自由に利用できるようにしてもらおうと市民の情報格差が減るのではないかと思います。 | |
| 37 | 17/ 22 | 計画全般 | 平成24年より図書館が補助執行している「市史編さん事業」がどこに、どのような形で入るのか不明です。 現在分類その他の作業を担っている歴史的公文書は、新しい図書館づくりが進められる中で、1-(4)の総務課行政資料コーナー（現在市庁舎3階）で保存するのか？ あるいは、2-(5)の鎌倉市図書館全体の資料保存庫に入るのか？ 市史編さん事業という政策課題の今後の在り方や、策定が進む新庁舎の実施計画や現所在地利活用庁舎の基本計画に深く関わることで、関連各課との話し合いを進め、具体的に明記しておくべきと思います。 P22に記述される市史編さん事業の項目と取組が果たして図書館のサービス計画に入るものなのかどうか、再考が必要と考えます。 | ご意見として承り、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。 |

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|-----|-----------|--|---|
| 38 | 17 | 施設整備・環境整備 | <p>現本庁舎に、具体的に中央図書館の機能をどのようなレベルでどのような機能を導入するのか、そしてどのような規模で、空間的にどのように実現するのかを検討する時期に来ているのではないかと思います。</p> <p>その際、箱モノを軽視すべきでないと思います。小さなスペースには大きな内容を盛り込むことは出来ません。十分な空間、面積を確保し、これからの図書館を実現していただきたいと考えます。</p> | <p>ご意見については、目標3の「未来につながる図書館」として位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。</p> |
| 39 | 17 | 施設整備・環境整備 | <p>市庁舎移転に伴う深沢図書館、中央図書館の移転は大きな転機です。市民の意見を聞く方法はさまざまあるかと思いますが、ぜひ同じテーブルについて、率直な意見を交わす場を多く作っていただきたいと思えます。</p> | <p>市民意見聴取方法等については、今後、検討してまいります。</p> |
| 40 | 17 | 施設整備・環境整備 | <p>賑やかな図書館、居場所づくりの方向性に懸念を持っております。</p> <p>誰でも気軽に利用できることから、ゲームをするなど一部のグループの溜まり場にならないか懸念があります。</p> <p>(お話会や工作などの「テーマ」で集まる場は賛成です。親子や大人がゆっくり本を読めるスペースで十分だと個人的に考えます)</p> <p>ルールとして、親子スペース以外の利用で3人以上のグループの場合は、受付で申請するなど、他の利用者が不快にならない環境作りをお願いいたします。</p> <p>大人の目が行き届かない不適切なやりとりや、本をゆっくり読みたい子供が敬遠する事のないような環境にして頂きたいです。</p> <p>たくさんの本との出会いが、人間性を豊かにし将来どのような世の中でも生きて行ける地頭をはぐくむと思っております。大学入試でも科目関係なく読解力がないと正解を導き出せない出題が増えた通り、本を読む事は学力の基本です。</p> <p>年々、本離れが進んでいる中、鎌倉から全国の手本として図書館本来の機能(本を読む、本と出会う)を促進する取り組みを期待しております。</p> | <p>ご意見については、5「これからの図書館のあり方について」として位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。</p> |

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|------|-----------|--|--|
| 41 | 19 | 計画全般 | <p>既存の基金だけではなく、新しい基金の創設も視野に入れてほしいと思います。たとえば、絵本、児童書、ライトノベルなど子供読書活動推進の対象であるおよそ18歳までの子どもたちを対象にした資料購入への使用を目的に、新たな基金を立ち上げるのは如何でしょうか？</p> <p>以前同様の提案をした時に、一つの課で2つ以上の基金は作れない、と伺って残念に思ったことがあります。その後、独自に確認したところ、そのような決まりはないとの意見を聴きました。「あらゆる可能性を検討する」中で、ぜひ一考して下さいよう希望します。「子どもたちのための本代」に対しては、個人、団体問わず、多くの皆さんからの気持ちが寄せられるのではないかと期待します。他自治体ではなく住まうわが町鎌倉にふるさと納税していただけるような提案を、ぜひ図書館から発信していただきたいと思います。</p> | <p>ご意見については、5「これからの図書館のあり方について」として位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はこのままとします。</p> |
| 42 | 23ほか | 計画全般 | <p>図書館協議会の委員の充実が必要です。委員を増やして図書館業務に通曉した専門家や実務経験者を複数にする、市民委員も図書館をよく利用して図書館サービスについてしっかりとした考えを持つ人を複数選ぶなどのことが必要と考えます。</p> | <p>ご意見として承り、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。</p> |
| 43 | 23ほか | 計画全般 | <p>図書館協議会についてですが、単に「市民に開かれた運営」とするだけでなく、審議する課題として「図書館評価基準の作成」を諮問してはどうでしょうか。図書館活動をできるだけ客観的に評価する指標のようなものをつくるべきと考えます。サービス計画をつくるうえでも必要であるし、予算要求をする場合でも説得ある根拠にできるのではないのでしょうか。</p> | <p>ご意見として承り、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。</p> |
| 44 | 24 | 施設整備・環境整備 | <p>「中央図書館の老朽化対策」も「資料保存スペース」も何れも早急に取り組むべきことだと思います。新深沢図書館や新中央図書館が実際にできるとしてもまだかなりの時間を要します。</p> <p>その間の、地震、津波、大型台風など、予測できない自然災害への対応は待ったなしではないのでしょうか？ 特に貴重資料保存の環境整備や、万が一のための貴重資料のデジタル化など、図書館員でなくては着手することのできない災害対応の責任は非常に重大です。</p> | <p>ご意見については、目標1「利用者にとって魅力ある図書館」取組事業一覧の「資料収集・保存・管理」として位置付けておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はこのままとします。</p> |

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|-----|-----------|---|---|
| 45 | 24 | 図書館職員 | 資料の充実のためには予算だけでなく選書能力に長けた職員が不可欠なのですが、「市民の活動を支える職員の配置」には取組内容として「司書資格のある事務職員の長期配属」とあり(P24)、とても引っかけられます。第3次サービス計画にあった「技術職員の採用と育成」という言葉がここでは消えてしまっています。つまり図書館に専門職はいらない、司書資格を持つ事務職がいればよいと読めます。鎌倉市は継続的な司書の確保は必要として今年度に司書の技術職採用を約30年ぶりに実施しました。それを早くも次の計画で反故にしようというのでしょうか。この計画の冒頭に掲げている「図書館とSGDs目標4質の高い教育をみんなに」を実現するためにも重要なのが専門職員の確保ではないでしょうか。そのことが図書館の「質の高さ」を最も左右するものと考えますので、引き続き第3次サービス計画の「技術職員の採用と育成」を計画の中に明記すべきと考えます。 | ご意見として承り、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。 |
| 46 | 28 | 図書館資料 | 腰越、大船、玉縄、(深沢も)が所蔵する、それぞれの地域ならではの貴重な郷土資料の保管についても十分に配慮されなければならないと思います。 | ご意見についてはP21、目標1「利用者にとって魅力ある図書館」の取組事業一覧「郷土に関する資料の収集」として位置づけておりますので、第4次鎌倉市図書館サービス計画はこのままとします。 |
| 47 | 28 | 施設整備・環境整備 | 腰越・大船・玉縄図書館について 目標3で 「公共施設再編計画等をふまえ、保存スペースの算出と保存環境の整備を検討する」と書かれているが、保存以外にどのような計画があるのか。新図書館でのサービス計画との違いはあるのか。 | ご意見にある保存スペースについては、現状で検討していくべき課題として捉えているものを記載しています。保存以外についても、今後の取組状況に応じて必要な対応をしていきます。 |
| 48 | 35 | 表現・説明 | いつものようにユネスコ宣言なども付記されていて、図書館を改めて考える一助になりました。しかしユネスコ宣言は、2022年の新しい年次のもも掲載してほしかったと思います。 | ユネスコ公共図書館宣言の2022年版はまだ仮訳しかありませんので、いただいたご意見を踏まえ「2022年版(英文のみ)がある」ことをP37に注記しました。 |

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|---------|-------|---|--|
| 49 | 参考資料 | 表現・説明 | <p>少々古いですが、文科省から発信されている「これからの図書館の在り方検討協力者会議」の議論の中の、これからの図書館の在り方も参考文献に加えて頂きたいと思いました。図書館におけるリファレンスの大事さがよく伝わります。</p> | <p>「これからの図書館の在り方検討協力者会議」が開かれたのは平成21年(2009年)~22年(2010年)でした。それから社会情勢もかなり変化していますので、ご意見として承り、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとさせていただきます。</p> |
| 50 | 図書館ビジョン | 表現・説明 | <p>鎌倉市図書館の使命の欄、ことばの表現に関してですが、とてもお役所的な、言い回しのように感じられました。作家井上ひさしの言葉に、「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく、おもしろいことをまじめに・・・」という名文があります。図書館は、市民に対してこんな図書館をと、サービス案を考えていると、読んだ人誰もが、自分の中に具体的なイメージを描けるような、易しい表現であってほしいと思いました。</p> <p>決意を表明するのであれば、鎌倉市図書館は、市民とともに創りあげてきた図書館です。と自信を持って言い切ってほしいです。</p> <p>市は責任を持って持続可能な図書館運営を行っていく必要があります。</p> <p>☑市は持続可能な図書館運営を行う責任があります。と端的に表現してほしいものです。</p> <p>「図書館は知的セーフティネットでなければなりません」と言われて、具体的なイメージが湧くでしょうか。知のありかたも多様化する知識社会、知の領域においては、市民誰をもとりこぼさないような役割を担う場所と解釈をしましたが、間違っているでしょうか？</p> | <p>「図書館ビジョン」は図書館にとって重要なものであるため本計画に記載していますが、平成31年に、図書館サービス計画とは別に策定したものです。ご意見として承り、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとさせていただきます。</p> |
| 51 | 全体 | 表現・説明 | <p>職員の皆様の、熱い思い、図書館が今大事な時期にさしかかっている、何とかしなければという思いが強く感じられ、心強く思いました。意識すべき点を多々上げて、今後に向けての意気込みも個々に述べられ、図書館職員の声が聞こえた気がしました。</p> <p>豊かな人材をもって運営している図書館の実情が伺われます。しかし、じっくり読みこんでいくと、表現が曖昧模糊としているところが多いように感じました。</p> | <p>ご意見として承ります。</p> |

| 番号 | ページ | 項目 | 内容 | 市の考え方 |
|----|------|-----------|--|---|
| 52 | 全体 | 計画全般 | 蔵書目標で、現状(平成30年)、目標(令和6年)、地方自治体の平均、貸出密度上位図書館平均を横並びに掲載したP14の表は、一目で問題点が浮き彫りになり、市民の理解を助ける一助となると思いました。 このような、過去、現在、未来目標、そして他の参考となる自治体図書館の数値が分かるような表を作成し、各所に挿入して頂きたいと思いました。 | 目標2の項目の数値については公表している図書館が少ないため表の作成に至りませんでした。目標3は数値目標の設定になじまないため設定していません。ご意見として承り、第4次鎌倉市図書館サービス計画はそのままとします。 |
| 53 | 計画全体 | 図書館職員 | 全体を通して不足に思うことは、「図書館の三要素」と言われる「資料」「施設」「人」のうち、「人」に関する記述が他の二つの要素に比べると消極的な記述に終始していることです。 | ご意見として承ります。 |
| 54 | その他 | その他 | 図書館独自の広報体制と市民に向けての幅広い告知が不足しているのが少々心配になります。 | ご意見として承ります。 |
| 55 | その他 | 施設整備・環境整備 | 公共図書館はその地域の貴重なかつ大切な文化施設であり、利用しやすい事を強く願っています。 | ご意見として承ります。 |
| 56 | その他 | その他 | 年代別のイベントでなく、色々な年代と一緒に活動できるイベントがあると交流ができて良いと思われます。 | ご意見として承ります。 |